

武内の先人たちの思いを胸に… 宮中新嘗祭への献上に向け 抜穂式(ぬいぼしき)開催

NEWS



写真 小柳六郎さん千代子さん夫妻



写真 武内町の児童たち



写真 抜穂式 神事

10月9日、素晴らしい秋晴れのもと、武内町松尾谷地区で平成28年度の宮中新嘗祭に献上する米の抜穂式(ぬいぼしき)が武雄市良質米生産対策協議会(市やJA、農業関係機関、献穀農家、地元関係者で構成)の主催により執り行われました。佐賀県代表として選ばれた献穀農家の小柳六郎さんが一生懸命に奉耕された稲は黄金色に実り、念願の稲刈りを迎えました。

小柳さんは、「武内町は、戦後の大変な食糧不足の中、政府の定める量を供出するため、村民はくず米や芋を食べて必死に米を作り、その結果政府への米の供出早期完遂日本一となった。当時の生活は今では想像出来ない位質素なもので、夜間はわずか20Wの裸電球一つで粉(もみ)すりを行っていたと言われる。今回武内町に献穀田が選定され、武内の米を献上できることは大変名誉なことであり、今は亡き先人の皆様に対し、胸を張って報告したい」と挨拶され、参加者を感動に包みました。

式では、国会議員をはじめ、県議会議員、市議会議員、JAや市、関係者など約150名が出席し、地元区民が見守るなか、「さがびより」の抜き穂を行いました。

また、式典後に行われた刈取り作業では地元の児童が鎌を手に取り、慣れない様子でしたが楽しそうに稲を刈りとっていました。

刈り取った稲は、乾燥などを経て精米され、10月31日に宮中へ献納されます。



NEWS 日本ハードメタル株式会社 北方町にて更なる事業展開へ

10月11日、武雄北方インター工業団地において、日本ハードメタル株式会社九州北方工場の開所式が執り行われました。

日本ハードメタル株式会社の小野克比古代表取締役、小松市長をはじめ市内外からの関係者約100人が出席。

開所式では小野社長から「これから、この九州北方工場を高精度、高品質の素材工場として発展させたい。」と力強い決意を込めた挨拶がありました。

同社は1990年(平成2年)に橋町で九州工場を稼働されて以来、四半世紀以上にわたって地域経済に貢献していただいています。

NEWS 21年ぶりのリニューアルを記念し 川古の大楠公園 水車まつり開催

10月9日、若木町の川古の大楠公園で、川古の大楠と並ぶシンボルとして親しまれてきた水車が21年ぶりにリニューアルされ、完成を記念して「水車まつり」が開催されました。

式典では市長より「若木にはたくさんの魅力があります。その中の一つとして、大楠、水車米があります。今回の改修を機に、さらに若木町を盛り上げていってください。」と挨拶し、若木保育園の園児12名による和太鼓で、式典は大変盛り上がりしました。

式典後は、若木町地域婦人会の皆さんが作られた、若木産・水車米のおにぎりと若木で採れた食材の豚汁が振る舞われました。